

●運動を通じて

3歳以上児は朝の活動で、歌やリズム運動、ストレッチで十分に体を動かして、さまざまなことに対応していただける健康でしなやかな体力づくりにつなげていきます。毎日続けることで普段の身のこなしにも変化が見られ、積み重ねの大切さを実感しています。また、運動を通して異年齢の友だちとも関わり、信頼関係を築いています。

運動会では、異年齢チームで力を合わせ、「なかよしリレー」も行いました。春と秋には、園の敷地回りを走るマラソンにも取り組み、達成感や体力の向上につながっています。

●食育活動・平和学習を通じて  
地域の皆さんに協力していただきながら、サツマイモやジャガイモの植え付けと収穫、アユの放流、アユつかみ、もちつきなど、年間を通してさまざまな体験をしています。地域の皆さんの温かい言葉やまなざしの中で、人と関わることの心地よさや温もり、命の大切さを感じることが出来る

機会を作っています。

その他にも、労働の大切さや苦勞、収穫の喜びを味わい、それらを生きていく力につなげたいという思いから、菜園活動、バケツでの米栽培、クッキング活動なども行っています。

8月には、広島・長崎への原爆投下の日や終戦の日に合わせて、戦争の悲惨さを写真や絵本などを通して話し、命の大切さや現在の生活のありがたさ、「戦争は決してしてはならない」とを伝えていきます。

今後も、子どもたちが豊かな心を持ち、健やかにたくましく心身ともに健やかに育っていただけるよう取り組んでいきます。

【日野高校】

日野高校では、人権教育の全体目標を「さまざまな人権問題に対する正しい認識と理解を深め、差別解消に取り組む意思と実践力を育成する」「自己肯定感をはぐくみ、多様な他者と豊かにつながり、一人一人が本来持っている能力を発揮して自己実現を図る」として、年間を通して人権教育に取り組んでいます。

1年次生は「身近にある問題を通して自分を見つめ直す」、2年次生は「さまざまな人権問題について認識を深め、自分の役割を考える」、3年次生は「解決する行動力と実践力を身につける」と、学年ごとに目標を掲げ取り組んでいます。

年間の主な内容は次の通りです。

●1学期

- 1・2年次生「仲間づくり」
- 3年次生「就職差別(統一応募用紙・違反質問)について」
- 全学年「デートDV予防学習会」講師による授業
- 講師：西部総合事務所福祉保健局社会福祉主事、鳥取県DV予防啓発支援員

●2学期

- 1年次生「人権学習講演会・命の大切さを学ぶ教室」
- 講師：公益社団法人ひょうご被害者支援センター 監事 高松由美子さん
- LHR「いじめの4重構造」
- 加害者の気持ちになつてみよう」
- 「よりよい人間関係を目指して①」
- 「よりよい人間関係を下げる方法を考えよう」
- 2年次生「障がい者スポーツ(ボッチャ) 体験教室」



▲2年次生ボッチャ体験教室

講師：鳥取県ボッチャ協会 小笹智史さん他3名

「人権教育講演会・部落差別のない社会を目指して」

講師：日南町人権センター 館長 弓場弘之さん

LHR「あいサポート」「差別の歴史を学び、人権侵害に気づく」

3年次生「人権教育講演会」

講師：大山町人権交流センター 指導員 権田雅さん

LHR「様々な人権課題を解決しようとする感性と行動力を身につける①」

●人権教育公開授業

1年次生「よりよい人間関係を目指して②」

問題を解決する力を身につけよう」

2年次生「差別、人権侵害の解消に向けた行動を考える」



▲人権教育公開授業の様子

3年次生「様々な人権問題を解決しようとする感性と行動力を身につける②」

その他学年ごとに講演会(特別支援教育事業として実施予定)「自己理解・他者理解」「性教育」「食育」

学校生活を送る生徒は、明るい笑顔を見せてくれますが、それぞれ悩みもあり時に衝突もあつたり、いろいろな様子が見られます。

個別に話をしたり、学年で対応したりと、やがて社会に出ていく生徒たちに生活していく力がつくことを全教員が願っています。

自分のできること、自分の未来を設計していくことなどの必要性を説きながら、生徒たちには新たな時代の中でたくましく生きていくしてほしいと願っています。



# 日野高 NEWS

日野郡唯一の高等学校である日野高校。日野高生ってどんな活動してるの？地域とのつながりを大切にしている日野高生の姿を、日野町の皆さんにお届けします！



10/31  
(月)

## 体験を通して福祉について考える 黒坂駅開業 100 周年 感謝のプラント設置

10月31日、アグリライフ系列3年次「造園計画」選択者3人が、JR 伯備線黒坂駅開業 100 周年に感謝を込めて、ジオラのプラントを設置しました。

黒坂駅は、11月10日に開業100周年を迎えました。日野農林学校、日野産業高等学校、日野高等学校と、生徒が利用してきた黒坂駅に感謝の気持ちを伝えたいと思います。

また、開業100周年記念事業が盛りあがるよう、今年、新たに名付けられた黒坂駅の愛称（副駅名称）「鏡山城」の看板も作成しました。

▼▶黒坂駅の愛称（副駅名称）「鏡山城」の看板を、ぜひご覧ください。



### 集落支援員 だより

SASAKI RYOUMEI  
佐々木 良明

担当地区：菅福



11月15日、菅福地区で「わすれんぼカフェ」を開催しました。

菅福公会堂に入りきれないほどたくさんの方々が出席し、オカリナ演奏から始まり、わすれんぼくらすの皆さんによるシルバー川柳では、壇上で面白おかしく読み上げて大にぎわいでした。

点てたお茶とお茶菓子の芋ようかんも好評で、あちこちから「おいしい、おいしい」との声が聞こえてきました。久しぶりに会う友人、知人との会話に花が咲き、あっという間の90分。準備運営に携わっていただいた皆さん、ボランティアの皆さん、ありがとうございました。たくさんの笑顔を見ることができました。



SAKOHIRA TOMOKO  
迫平 朋子

出身地：広島県  
所属団体：まめなか屋



まめなか屋は、11月で今の場所に店舗移動拡大してから一年が経ちました。

店が充実していくにつれ、たくさんの人とのご縁をいただいた一年でもありました。関わりの中で、「一人ではできない事だけど、この方とこの方をお繋ぎしたら…こんなことができるのではないかな？」という思いに出会う日が多くなり、店を拠点としお繋ぎしたご縁が発展していく姿を今少しずつ見せていただいています。

その事がきっかけで、ここに来てやりたかった1つでもある商品開発もようやく現実のものにしている最中です。

▶写真は、奥ひの青パイヤ研究会とノームの糸車（南部町）をお繋ぎして生まれた商品です。

